

# 夢のかけ橋



高知県教育だより～第12号～



平成22年（2010年）

9

## ～全国生涯学習フォーラム高知大会の概要～

11月20日（土）から22日（月）にかけて開催される全国生涯学習フォーラム高知大会の概要をお知らせします。開催期間中は、以下のような多彩な催しを行いますので、職員の皆様は会場に足を運んでいただきますようお願いします。

### 総合開会式

11月20日（土）14:00～16:00

高知市文化プラザかるぽーと



会場のイメージパース

開会式典に引き続き、山田太鼓、津野山古式神楽や高校生の吹奏楽演奏・合唱、よさこい踊りなどにより高知県の魅力を全国に発信します



歓迎行事出演  
岡本知高氏

### 高知ぢばさんセンター会場

11月20日（土）～21日（日）

全国のまなびを一堂に集め、学習情報や展示また実際に体験するコーナーを多数設けます



高知県内の市町村からご当地自慢のおいしい食べ物を皆様にご提供します



全国生涯学習情報発信市・体験ひろば



地産外商・食育展

### テーマ別フォーラム

11月20日（土）～22日（月）

#### ◎環境フォーラム 「黒潮・清流・里山 まるごと高知自然学校！！」

11月21日（日） 黒潮町ふるさと総合センター 基調講演ほか

11月22日（月） フィールドワーク 5コース

#### ◎地域再生フォーラム 「こじゅんと熱い！ 地域活性の汗かき人大集合！！」

11月21日（日）～22日（月） 田野町総合文化施設ふれあいセンター 基調講演、先進事例発表ほか

#### ◎地域コミュニティフォーラム 「地域コミュニティの核は地域の学校！」

11月21日（日） 県立ふくし交流プラザ トークセッションほか

11月22日（月） 南国市立稻生小学校

#### ◎人材育成・キャリア教育フォーラム

「今こそ、青少年の底に眠る龍馬DNAを呼びさせ！！」

11月21日（日） 高知工科大学 基調講演、シンポジウム「今を生きる高知県の若者たちへ」

11月20日（土）～21日（日） 高知市中央公園 ドミノワークショップ、ステージイベントほか

### 文化・芸術ライブステージ

開場 9:00 開会 9:30～

11月20日（土）～21日（日）

県立高知追手前高校多目的ホール

高知県高校総合文化祭とのコラボレーションにより、県内各地の伝統芸能継承者や県内外で活躍するパフォーマー達とのふれあい・交流・楽習などを行います



### 閉会式

11月22日（月）15:00～17:00

高知県立美術館ホール

テーマ別フォーラムの開催報告を行い高知大会を総括します  
また「教育の日」の宣言やアトラクションにより大会を閉会します



「いちむじん」出演

## 平成21年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査 (不登校・暴力行為・いじめ・中途退学)について

平成21年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査について、8月5日に小中学校の不登校、9月14日に暴力行為、いじめ、高等学校の不登校、中途退学の発表があり、本県の状況は、以下のとおりとなっています。

### 1 本県と全国の国公私立学校の状況

項目	対象		平成21年度	平成20年度
1,000人当たりの不登校児童生徒数	小・中学校	高知	12.7人 (全国ワースト8位)	13.6人 (全国ワースト6位)
		全国	11.5人	11.8人
1,000人当たりの暴力行為発生件数	小・中、高等学校	高知	7.7件 (全国ワースト5位)	7.8件 (全国ワースト5位)
		全国	4.3件	4.2件
1,000人当たりのいじめ認知件数	小・中、高等学校、特別支援学校	高知	2.5件 (全国15位)	2.6件 (全国15位)
		全国	5.1件	6.0件
1,000人当たりの不登校生徒数	高等学校	高知	16.7人 (全国ワースト17位)	14.9人 (全国ワースト28位)
		全国	15.5人	15.8人
中途退学率	高等学校	高知	1.8% (全国ワースト11位)	2.2% (全国ワースト4位)
		全国	1.7%	2.0%

※上記のデータは、国公私立合計

### 2 本県の公立学校の状況

#### 《小・中学校における不登校児童生徒》

- ① 平成20年度と比較して、小学校(183人→150人:33人減少)、中学校(612人→569人:43人減少)とも減少している。
- ② 学年別でみると、学年が進むにつれて多くなっており、中学3年生が222人と最も多く、全体の30.9%を占めている。
- ③ 不登校のきっかけと考えられる状況は、小中学校ともに「本人に関わる問題」(小:42.7%、中:44.1%)が最も多く、次いで、小学校では「その他」(27.3%)、中学校では「いじめを除く友人関係をめぐる問題」(33.2%)が多い。

#### 《小・中、高等学校における暴力行為》

- ① 平成20年度と比較して、小学校(103件→44件:59件減少)で減少しているものの、中学校(427件→472件:45件増加)で増加している。また、高等学校(77件→76件:1件減少)はほぼ横ばいとなっている。
- ② 形態別では、対教師暴力が102件(小:26件、中:73件、高:3件)、生徒間暴力が281件(小:16件、中:222件、高:43件)、対人暴力が15件(小:0件、中:12件、高:3件)、器物損壊が194件(小:2件、中:165件、高:27件)である。また、平成20年度と比較して、生徒間暴力(316件→281件:35件減少)と対人暴力(23件→15件:8件減少)は減少し、対教師暴力(90件→102件:12件増加)と器物

損壊（178件→194件：16件増加）は増加している。

### 《小・中、高等学校、特別支援学校におけるいじめ》

- ① 平成20年度と比較して、小学校（31件→53件：21件増加）で増加し、中学校（126件→111件：15件減少）と高等学校（41件→27件：14件減少）で減少し、特別支援学校（1件→1件）で増減がなかった。
- ② いじめ発見のきっかけで最も多いのは、小学校では「当該児童生徒の保護者からの訴え」（39.6%）で、中学校では「学級担任が発見」（28.8%）で、高等学校では「本人からの訴え」（33.3%）である。

### 《高等学校における長期欠席者（うち不登校生徒）》

- ① 平成20年度と比較して、長期欠席者数は、全日制（224人→228人：4人増加）で増加し、定時制（226人→208人：18人減少）で減少している。
- ② 平成20年度と比較して、長期欠席者数に占める不登校生徒の割合は、全日制（54.0%→73.2%）、定時制（40.7%→42.3%）ともに増加している。
- ③ 不登校になったきっかけと考えられる状況については、「極度の不安や緊張、無気力、本人に関わる問題」が36.9%と多くを占めている。

### 《高等学校における中途退学》

- ① 平成20年度と比較して、中途退学者数は減少（全日制272人→213人：59人減少、定時制131人→93人：38人減少）となっている。
- ② 全日制の中でも普通科の中途退学率は1.2%と前年度の0.8%から増加している。定時制の中途退学率は7.5%と、前年度の10.4%から大きく減少している。
- ③ 中途退学の理由としては、「もともと高校生活に熱意がない」「人間関係がうまく保てない」などが多くあげられる。

平成21年度は、平成20年度に比べ改善傾向にあり、その最も大きな要因は、日ごろから教職員の皆様が、愛情と根気を持って子どもたち一人ひとりに関わってくださったことにあると感謝しています。

また、課題を抱える子どもたちを校内で組織的に支援する体制が充実したことや校種間連携、地域、関係機関との連携が推進されたこと、スクールカウンセラー等やスクールソーシャルワーカーを積極的に活用したことなども改善の要因としてあげられます。

しかし、忘れてはならないのは、県内では、まだ多くの子どもたちがつらい思いをしていること、そして、数値として表れていない子どもたちもさまざまな課題や悩みを抱えていることです。

子どもたちを取り巻く環境は依然として厳しく、さまざまな教育課題が山積していますが、子どもたちの心を育む最も身近な大人は、教職員の皆様です。

「学校に来ていないあの子どもは、今どんな気持ちでいるのだろう」「暴力に訴えてしまうあの子に、一体何があったのだろう」「いつも明るいあの子にも、何か悩みがあるのでは」など、子どもたちの心に思いをはせながら、また、これまでに誰もが感じてきた「あの時、あの子にこんな関わりをしていたら、違う結果が得られたかもしれない」と自らの言動を顧みながら、子どもたちと接していただきたいと思います。

県教委では、予防を中心とした不登校・いじめ等を生じさせない学校づくりや、支援が必要な子どもを早期に発見し、早期に対応する取組を、学校・地域・関係機関・専門家と連携しながらさらに進めてまいります。

教職員の皆様には、県教委の取組にご理解・ご協力いただきますとともに、子どもたちのために、どうか今後ともご尽力いただきますようお願いいたします。

## さらなる学力向上対策の徹底を～平成22年度全国学力・学習状況調査の結果から～

7月30日に平成22年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。4回目となる今回は抽出調査となりましたが、本県では抽出された小学校114校、中学校86校に加え、他の学校も全て希望参加して、県内の全ての小中学校で小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されました。

今回公表されたのは抽出分の結果ですので、過去3回の悉皆調査の結果と単純には比較できませんが、小学校は国語の「活用」に関するB問題と、算数の「知識」に関するA問題で全国平均を上回り、ほぼ全国水準となりました。一方、

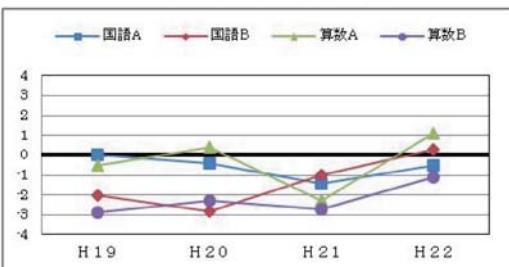
中学校は全国の平均正答率を2.5ポイントから6.7ポイント下回るなど、全国水準との差が依然として大きく厳しい状況にあります。平成19年度からの変化（伸び幅）は国語、数学とも全国1位で年々その差は縮まっています。

こうした結果は、学校現場や教育委員会が一昨年から取り組んできた学力向上対策の成果であると評価しています。

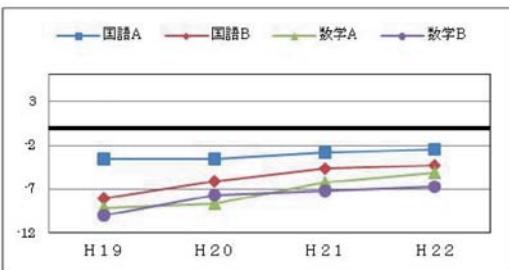
しかし、平成19年度の厳しい結果を受けて重点的に対策を講じてきた中学校においては、一層のレベルアップが求められまし、小学校も今回の結果を決して一過性のものとしてはなりません。するために各学校では、調査結果を踏まえて対策の見直しを行い、すぐに実行に移す必要があります。

県教育委員会としては、こうした学校の取組を支援するために、算数数学シートや国語学習シートなどの配付した教材や学校に対する人的な配置が、それぞれの学校の課題の改善に向けて有効に機能しているなど、個々の施策についての検証を行いながら、学力向上対策の徹底と質の向上を図ってまいります。

平均正答率の全国との比較（小学校）



平均正答率の全国との比較（中学校）



### お知らせ

#### ◎行事予定（10月、11月の主なもの）<注>現時点での予定です。日程の都合により変更される場合があります。

平成22年10月

- 10日 第52回高知県人権教育研究大会（高知市 春野中学校 9時30分～）
- 18日 第3回教育振興基本計画推進会議（高知市 教育センター一分館 13時30分～）
- 21日～22日 全日本中学校長会研究協議会高知大会（高知市 県民体育館他 9時30分～）
- 25日 「対話と実行」座談会（室戸市 室戸高校 13時40分～）
- 27日 定例教育委員会（高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時～）
- 29日 地域教育懇談会（高知市 高知会館 14時30分～）

平成22年11月

- 6日 第41回中国・四国地区こども会育成研究協議会高知大会（高知市 三翠園 12時30分～）
- 12日 平成22年度町村教育長会（土佐町 農村環境改善センター 13時～）
- 18日 定例教育委員会（高知市 県庁西庁舎教育委員室 13時～）
- 19日 県立高知農業高等学校創立120周年記念式典（南国市 高知農業高校 12時～）
- 20日 全国生涯学習フォーラム高知大会開会式（高知市 高知市文化プラザかるぽーと 14時～）

### 編集後記

「夢のかけ橋」第12号をお届けします。記録的な猛暑も過ぎ、朝気はめっきり涼しくなりました。私たちも、子どもたちと同じように「早ね・早起き・朝ごはん」を心がけ、毎日を元気に過ごしましょう。

本広報紙への感想や、ご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

教育委員会ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

### <発行者>

高知県教育委員会事務局

教育政策課

(TEL) 088-821-4731

(FAX) 088-821-4558



(E-mail) 310101@ken.pref.kochi.lg.jp